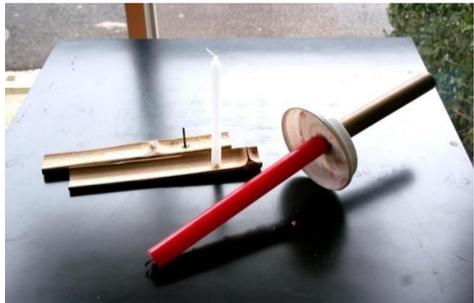


キャンドルのつとめ

概要	キャンドルの光は、厳粛で神聖な雰囲気をつくる効果がある。これまでの活動を静かにふりかえるよい機会となる。また、室内で実施のため気象条件に左右されることなく、参加者の集中力を保つことができる。	
ねらいとして考えられること	<ul style="list-style-type: none"> ① 仲間と楽しみながら親睦を図ることができる。 ② 役割を分担してみんなで協力し、最後までやりとげる態度を養うことができる。 ③ 出し物等を考えることで創造性を養うことができる。 ④ 道具を大切に扱う態度を養うことができる。 	
対象	幼児から	
人数	レクリエーション室80名。プレイホール240名。	
場所	レクリエーション室、プレイホール	
時間	1時間30分～2時間	
指導員	自主活動	
活動時期	通年	
経費	ろうそく代金1本30円。	
事前に準備するもの	救急箱・ゴミ袋・第2部に使う道具・音楽CD等	
引率者の役割	事前打合わせ	① 引率者は事前に説明を受ける。
		② 役割のある者を1時間前に会場に集合させる。
		③ キャンドルについての説明を聞かせる。
		④ 衣装や位置の確認をする。
		⑤ プログラムの第1部と第3部を実際に行う。(2回)
	活動前	① トイレに行かせる。
		② 5分前までに会場に班ごとに集合させキャンドルを中心に円を作る。
		③ 厳粛な雰囲気を作るため、無駄話や視聴の妨げになる言動がないように指導する。
		④ 児童生徒にろうそく立てを配布する。
	活動中	① 神の子が火を児童生徒に分火するとき指導する。
		② 生徒が献火するときに指導する。
		③ ろうそく立てを回収する。
		④ 無駄話や視聴の妨げになる言動がないように指導する。
	活動後	① ろうそくを回収してバケツに入れる。
		② 床にろうが付着していないか確認する。
③ ゴミ等がないか確認する。		
安全上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ① ろうそくの炎で火傷をしないように注意する。 ② 会場が暗くなるのでぶつかったりしないように注意する。 ③ ろうそく立ては釘を使用しているので、下に置かせない。 	
その他	<p><貸し出し用具></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>燈火台 レクリエーション室 プレイホール 1台</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>衣装 5セット×2 キャンプファイヤーと兼用</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ろうそく 白・・・児童生徒用 赤・・・火の神、神の子用</p> </div> </div>	